



全国連合退職校長会

会報

令和5年度 総会挨拶

全国連合退職校長会

会長 田中 昭光



本日は、コロナ禍の感染防止対策が緩和され4年ぶりに全連退総会が開催されることとなりました。この間、各都道府県退職校長会の諸活動が停滞することなく実施されましたことを伺い安心してました。

開催にあたり、永岡桂子文部科学大臣の代理として、文部科学省初等中等教育局視学官大滝一登様をはじめ、日頃ご指導、ご協力、ご支援等を賜っております来賓の方々のご臨席を賜りましたこと、心より感謝し御礼申し上げます。

全連退では、理事会、副会長会、常任理事会の活動を縮小しましたが、年度の「活動計画」

に基づいて活動できました。

特に、この間学校教育に多大な影響が生じましたが、児童生徒が少しでも充実した学校生活を送れるよう各学校の教職員が献身的に教育活動を展開されたことに敬意を表します。

全連退の活動目標として、教育尊重の気運を高め教育の振興に寄与することを掲げ、各都道府県退職校長会において、地域の良好な環境の形成に努めてまいりました。

特に、学校運営協議会に参画する等、地域の方々と連携協力し、地域の文化活動や学校の要望に応じ、体験学習やキャリア教育の充実に貢献しています。

文科省は、子供たちが情報化やグローバル化の進展や絶え間ない技術革新等による急激に変化する予測困難な社会を生きていくために求められる資質・能力を育成するため、指導要領を改訂し「主体的・対話的で深い学び」を展開してきました。更に、令和4年「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現のために、GIGAスクール構想の実現が加速され、ICT環境整備やオンライン

イン学習、デジタル教科書の導入などが始まりました。しかし、現況では、指導の在り方に課題を抱え、教員の勤務の負担が重くなっています。

一方、いじめ、不登校、自殺などの防止や、ヤングケアラー対策に対する支援が求められていますが、教職員の対応だけでは解決できない問題で重い負担が懸つています。

文部科学省では、いじめ防止対策推進法の周知により、学校での早期発見、対処のための対策を立てることを義務づけています。しかしながら近況では、児童生徒の不登校や自殺者が増加傾向にあります。

児童生徒の健やかな心身を育むことは、学校教育本来の使命でありますが、保護者、地域の支援が必要です。

一方、一人一人の児童生徒にとって安心して学ぶことが出来る学校の生活環境を整えることは必要不可欠です。

そのためには、教職員が一人一人の生徒に触れ合うことが出来る十分な時間を確保することが求められます。

全連退では教育振興部、教育課題委員会が中心となって、中央教育審議会の情報や都道府県

の学校教育の動向や当面の課題を的確に収集し、教育環境を一層整備改善することをまとめ、文部科学大臣や文部科学委員会の国会議員に対し引き続き教育予算の増額を要望していきます。令和5年度の初等中等教育関係の主な予算は

○教職員定数の改善 ○小学校高学年の教科担任制 ○教育相談体制の整備 ○特別支援教育の充実 ○道徳教育の充実 等です。

全連退としては、教育振興に関する要望として、教育の機会均等と教育水準の維持・向上を図るため、義務教育制度の根幹を為す義務教育標準法、義務教育国庫負担制度、教科書無償制度等を堅持するとともに、国庫負担率二分の一への早期復元、また、働き方改革には教育予算の増加が基本であることを要望していきます。

最後に、近年、退職校長会の会員の高齢化や中途退会者の増加、新会員の入会の減少が懸念されています。会員の皆様には、長年に涉り教育世論の喚起、学校や地域社会に貢献してきた活動が停滞することなく継続していくことをお願いし、ご挨拶といたします。

祝辞

文部科学大臣 永岡 桂子様
(代読) 初等中等教育局 大滝 一登様
視学官



全国連合退職校長会 第五十九回総会が開催されますことを、お祝い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、長年にわたり教鞭をとられ、また、学校の責任者として我が国の教育の充実・発展に多大なる貢献をされ、現在もなお教育界の大先輩として御尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表し、心より御礼申し上げます。

さて、去る五月十二日から十五日まで「G7富山・金沢教育大臣会合」が開催され、G7の教育大臣の皆様と「富山・金沢宣言」をとりまとめたところで、ここでは、コロナ禍を経て明らかになった学校の役割を維持発展させていくことの重要性や、ICT環境の整備、情報活用能力に係る教育の充実、持続可能な開発のための教育の奨励、国際交流の拡大が今後とも大変重要であること等が再確認されました。

また、五月二十二日には、学校教育の成否を左右する教師の皆様に関して、「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について、中央教育審議会に諮問いたしました。ここでは、更なる学校における働き方改革の推進や教師の処遇改善、学校の指導・運営体制の充実について、一体的・総合的な検討をお願いしたところで、文部科学省としましては、これらの動きも踏まえつつ、今後とも、教育現場をしっかりと支

えていけるよう、皆様と一丸になって必要な取組を進めてまいりる所存です。皆様におかれましては、文部科学省の取組への御理解と御協力をお願い申し上げます。教育に対する深い知識と経験を生かし、学校教育の充実・発展のために一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、全国連合退職校長会

のますますの御発展と、御出席の皆様への更なる御活躍を祈念いたします。お祝いの言葉とい



来賓席

全国校園長会長代表
全国連合小学校長会

会長 植村 洋司様



全連小会長

全国連合小学校長会 会長の
植村洋司でございます。

本日は、全国連合退職校長会
第59回総会が会員の皆様が集
まれ、盛大に開催されますこと、
誠にありがとうございます。全
国連合小学校長会を代表して心
よりお慶び申し上げます。

また、全国連合退職校長会の
皆様におかれましては、日頃よ
り、現職の校長を支えていただ
くとともに、伝統的に積み重ね

てこられた様々な取組や活動に
より、人材育成を推進し、「教
育尊重の機運を高め教育振興へ
の寄与」をされておりますこと
に、この場をお借りして敬意を
表します。

さて、新型コロナウイルス感
染症は2類から5類に移行しま
したが、この3年間は、新型コ
ロナウイルス感染症の影響だけ
ではなく、教育界にとって遅々
として進まなかった大きな課題
を一気に改善へと向かわせまし
た。

つ、新たな研修制度の実施へと
発展的に解消されました。

一方で、いわゆる「教員不
足」が生じており、臨時的任用
教員等の講師の不足に加えて
「正規教員」ですら不足してい
る現在の状況は、義務教育の根
幹を揺るがす大きな課題である
と捉え、危機感をもっておりま
す。

今こそ、教育に携わる一人一
人の教員が、学校教育を推進す
る自負とその職責の重大さを自
覚し、学校教育のさらなる発展
に全力を注ぎ、国民の期待に応
えていく必要があります。

日本の学校教育が大きな転換
期を迎えるこのとき、改めて、
「学校を元気にする」というこ
とが大事だと考えています。

「学校を元気にする」とともに
「教員を元気にする」というこ
とを大事に、全国の校長が一致
協力し、学校経営の充実に努め
てまいりたいと思います。

今後は、貴全国連合退職校長



本部役員 会長・副会長・監事

会と全国連合小学校長会が、よ
り一層連携を深め、さらに前進
してまいりたいと存じます。

結びに、総会の開催にあたり、
ご尽力いただきました入子祐三
会長様をはじめ関係の皆様に関
謝申し上げますとともに、全国
連合退職校長会の益々のご発展
と、ご参会の皆様をはじめ全て
の会員の皆様のご健勝とご活躍
を祈念いたしました私の挨拶と
いたします。

総会報告

日時 令和5年6月7日(水)

午前10時より

会場 きゅりあん(品川区立

総合区民会館小ホール)

出席者 正副会長、常任理事、

理事、監事、代議員等

103名

司会・進行 総務部長 橋本誠司

開会に先立ち物故者への黙祷

1 開会の辞 副会長 中川俊隆

2 国歌斉唱

3 全連退綱領の唱和

主唱 広報部長 村山忠幸

4 会長挨拶 会長代理 田中昭光

5 来賓祝辞

○文部科学大臣 永岡桂子様
(代理) 初等中等教育局視学官 大滝一登様

○全国校園長会長代表

全国連合小学校長会

会長 植村洋司様

6 来賓紹介 事務局長 川井 仁

7 議長選出

前日の理事会で松井和夫、黒

坂由紀子の両副会長を選出



会場風景

8 議事

第1号議案

令和4年度会務報告

総務部長 橋本誠司

第2号議案

令和4年度決算報告

並びに監査報告

決算報告

会計部長 三上裕三

監査報告

監事

酒井傳美雄
(10ページ)

第3号議案

令和5年度役員承継

その1 会長の退任と就任

入子祐三 ↓ 田中昭光

その2 副会長の退任と就任

(北海道地区)

黒坂由紀子 ↓ 千田 薫

(東北地区)

木村幸治 ↓ 太宰 明

(関東甲信越地区)

松井和夫 ↓ 川端重義

(近畿地区)

久保英志 ↓ 中室清文

(中国地区)

中川俊隆 ↓ 塩川 寛

(四国地区)

濱田 治 ↓ 石川和幸

(九州地区)

伊藤圭二 ↓ 今村統嘉



議長団

その3 監事の退任と就任

横内清信(青森) ↓

坂爪靖夫(福島)

野村キミ子(埼玉) ↓

大久保重則(神奈川)

酒井傳美雄(三重) ↓

高田 勇(富山)

第4号議案

令和5年度活動目標並びに

事業計画案

各部長・委員長から提案

(8・9ページ)

第5号議案

令和5年度予算書(案)

会計部長 三上裕三

(11・12ページ)

第6号議案

「総会宣言」の採択

(7ページ)

読み上げ 副会長 久保英志

※各提案は原案通り承認されま

した。

9 感謝状並びに記念品贈呈

(5ページ)

10 閉会の辞

副会長 結城正斉

感謝状並びに記念品贈呈者

(1) 退任会長

入子 祐三様 (東京)

(2) 退任副会長

黒坂由紀子様 (北海道)

木村 幸治様 (東北)

松井 和夫様 (関東甲信越)

久保 英志様 (近畿)

中川 俊隆様 (中国)

濱田 治様 (四国)

伊藤 圭二様 (九州)

(3) 退任監事

横内 清信様 (青森)

野本キミ子様 (埼玉)

酒井傳英雄様 (三重)

(4) 退任常任理事

石田 孝作様 (埼玉)

西城 正俊様 (千葉)

多田 丈夫様 (東京)

大久保重則様 (神奈川)

本間 信様 (長野)

村山 信一様 (新潟)

(5) 退任理事

小山 修様 (宮城)

佐藤俊市郎様 (福島)

富田 剛史様 (京都)

若竹 洋三様 (大阪)

辻 治様 (大阪)

廣本 勝裕様 (岡山)

立石 淳様 (愛媛)

福澤 秀昭様 (福岡)

森永 和雄様 (佐賀)

幸地 忍様 (沖縄)



感謝状贈呈

記念講演 (午後1時~2時30分) 講師紹介

講師 一般社団法人教科書協会

情報専門委員会

委員長 長谷部直人様

副委員長 福尾 浩様

演題 「デジタル教科書の現状と今後の課題」



※講演内容の要旨は次号に掲載いたします。

全連退ホームページ「表紙の写真」募集について

全連退ホームページの表紙を飾る写真を、会員の皆様から募集いたします。内容は、表紙にふさわしいものであれば、自由です。写真は3~5枚で、メールまたはプリント写真での受付といたします。採用させていただきますと、作品名とお名前を掲載して一定期間活用させていただきます。宛先は全連退広報部です。今回の募集期間は令和5年8月31日までです。

送先 メール info@zenrentai.org
郵送 東京都品川区東五反田5-21-13-308



全連退会員 バッジの着用を

全連退会員として、バッジを着用して、会員としての自覚と、つながりを求めましょう。送料を含めて、一個一、二〇〇円です。なお、三十個以上まとまりますと、一個一、〇〇〇円となります。(全連退事務局)

令和5年度役員一覧

監事	常任理事	副会長	会長
坂爪靖夫	水越和夫	田中昭光	田中昭光
大久保重則	新沼隆三	千田薫	千田薫
高田勇	立見康彦	太宰明	太宰明
	新井俊一	川端重義	川端重義
	澤口正	結城正斉	結城正斉
	角田美枝子	中室清文	中室清文
	櫻林俊一	塩川寛	塩川寛
	川入邦夫	石川和幸	石川和幸
	高橋雄一	今村統嘉	今村統嘉
	橋本誠司		
	荻原武雄		
	岡野仁司		
	村山忠幸		
	三上裕三		
	藤崎武利		

本部

理事(副会長)							
中室清文	近藤繁彦	川端重義	高橋一康	奈良年明	太宰明	佐藤晴樹	千田薫
川越達也	堀田良里	稲葉昭一	鈴木弘康	吉川健次	高橋一郎	福士寛樹	千田薫
白石悦徳	加藤卓	大橋達男	福士寛樹	岩手森	高橋一郎	鈴木弘康	千田薫
稲葉悦徳	池田富夫	稲葉昭一	鈴木弘康	青森	高橋一郎	鈴木弘康	千田薫
山口節夫	坂野重法	大橋達男	鈴木弘康	宮城	高橋一郎	鈴木弘康	千田薫
加賀谷弘	川合俊平	大橋達男	鈴木弘康	北海道	高橋一郎	鈴木弘康	千田薫

地区

事務局長	理事(副会長)						
川井仁	今村統嘉	高木真	石川和幸	徳正夫	菱川成雄	中川俊隆	塩川寛
佐々木多美子	佐々木基成	高木真	石川和幸	徳正夫	菱川成雄	中川俊隆	塩川寛
	佐々木基成	高木真	石川和幸	徳正夫	菱川成雄	中川俊隆	塩川寛
	佐々木基成	高木真	石川和幸	徳正夫	菱川成雄	中川俊隆	塩川寛
	佐々木基成	高木真	石川和幸	徳正夫	菱川成雄	中川俊隆	塩川寛
	佐々木基成	高木真	石川和幸	徳正夫	菱川成雄	中川俊隆	塩川寛
	佐々木基成	高木真	石川和幸	徳正夫	菱川成雄	中川俊隆	塩川寛

事務局

理事会報告

日時 令和5年6月6日(火)

午後1時～4時30分

会場 きゅりあん(品川区立総合区民会館小ホール)

出席者 正副会長、常任理事、理事、監事等

68名

司会・進行 総務部 藤崎武利

1 開会の挨拶 副会長 中川俊隆

2 会長挨拶 会長代理 田中昭光

3 令和4年度会務報告 総務部長 橋本誠司

4 令和4年度決算報告・監査報告 会計部長 三上裕三

5 「役員選出」並びに「総会宣言の文案作成」について 監事 酒井傳美雄

8地区の副会長による役員選出委員会、総会宣言の文案作成委員会を開催

そのため理事会は暫時休憩

全国連合退職校長会 綱領

われわれは 全国連合退職校長会の設立以来の歴史や活動を継承し わが国の教育の将来を見定め 会員としての自覚と誇りをもって ここに綱領を制定する

- 一 教育尊重の気運を高め 日本の教育の振興に寄与する
一 生きがいをもって生涯学び続け 充実した生き方を実現する
一 会員の親睦を図り 福利・厚生の拡充に努める
一 地域の教育・文化の向上や 良好な環境の形成に尽力する
一 関係機関・団体と連携・協力して 活動の発展を図る

平成十六年六月十七日

(設立四十周年) 制定

令和五年度 総会 宣言

新型コロナウイルス感染症の収束が望まれる中、心身ともにたくましく生きていく人材の育成には、教育尊重の気運を高め、新しい時代に相応しい教育の充実、向上に努めることが大切である。また、今日の社会保障制度改革の動向を見据えて、会員の福祉の増進に努める必要がある。
この時に当たり、全国連合退職校長会は諸課題について考究し、時宜に応じた意見や提案を発信するなど、各都道府県退職校長会の連合体としての活動を進めていく。
ここに、総会において、左記事項の実現に尽力することを宣言する。

記

- 一 各都道府県退職校長会との連携を一層密にし 健全な教育世論を喚起し 教育の振興に寄与する。
一 質の高い学校教育を願い 人材確保等教育諸条件の整備・充実に期し 政府・関係機関への要望や意見具申を行う。
一 安心できる社会保障制度の確立のために政府・関係機関に要望を行い 会員の福祉の増進に努める。
一 「チーム学校」の働き方改革の支援と地域学校協働活動への参画を通して家庭や地域の教育・文化の振興に努め 併せて生きがいのある生涯学習を実践する。
一 会員相互の絆を大切にし 情報の共有や共通理解を図り 校園長会をはじめ関係機関・団体との連携を一層深め 組織の拡充・活性化を着実に進める。
一 国民こそって教育の在り方を考える日として 国民の祝日「教育の日」の制定と活動内容の充実を図るため 関係機関や団体とともにその推進に努める。
一 東日本大震災・原発事故をはじめとする自然災害等により被災した地域の復興・創生と教育環境の正常化を政府や関係機関に求めるとともに 会員の相互扶助と連帯の精神により支援に努める。

令和五年六月七日 第五十九回 全国連合退職校長会 総会

◇ 再開 ◇

- 6 総会の議長候補の選出
副会長 松井和夫
副会長 黒坂由紀子
を選出
7 役員候補者選出報告
役員選出委員長 木村幸治
8 令和5年度活動目標(案)
並びに事業計画(案)
各部長・委員長 (P8・9)
9 令和5年度予算書(案)
会計部長 三上裕三 (P11・12)
10 「総会宣言」 文案発表
文案作成委員長 久保英志
11 その他
調査等の依頼
川井 仁事務局長
12 全連退の歌
「光かかげて」斉唱
13 閉会の挨拶
副会長 結城正斉

令和5年度 活動目標・事業計画

活動目標

全国連合退職校長会は、教育

尊重の気運を高め教育振興への寄与と会員の福祉の増進に資することを目的とし、諸活動の円滑な運営に努め、各都道府県の退職校長会相互の連携を密にし、連合体としての充実した活動を展開する。

1 各都道府県退職校長会との連携・協力を一層密にし、組織の拡充・活性化に努め、期待され存在感のある校長会をを目指す。

2 質の高い学校教育を願い、教職員の定数・待遇改善や施設・設備等の教育諸条件の整備・充実を図るため研究・協議を深め、時宜に応じて政府・関係機関への要望や意見具申を行い、教育の振興に寄与

する。

(教育の振興)

3 安心できる社会保障制度の確立のために政府・関係機関に要望を行い、会員の福祉の増進に努める。

(会員の福祉の増進)

4 教職員が本来の教育活動に専念できるように、外部人材の活用や「チーム学校」の仕組み等の働き方改革に関し支援を行う。

(働き方改革への支援)

5 地域全体で子供たちの成長を支え、地域の教育力の向上を目指す地域学校協働活動等への参画を通して、家庭や地域の教育・文化の振興に寄与する。

(社会貢献活動)

6 教育関係諸機関・団体と連携し、相互の協力・交流を深め、諸事業の円滑な運営に努

める。

(諸機関・団体との連携)

7 会員相互の絆を大切にし、会報やホームページ等諸情報共有と共通理解を図り、校園長会との連携を深め、組織の活性化に努める。

(組織の活性化)

8 生きがいのある生涯学習を実践し、会員同士の交流や研修・親睦を深め、豊かな生き方の実現に努める。

(生涯学習と豊かな生き方)

9 国民こそって教育の在り方を考える日として、国民の祝日「教育の日」の制定並びにその活動内容の充実を図り、教育尊重の気運の喚起・醸成に努める。

(「教育の日」の推進)

10 今なお復興途上の東日本大震災・原発事故をはじめとする自然災害等により被災した地域の復興・創生と教育環境の正常化を政府や関係機関に求めるとともに、会員の相互

扶助と連帯の精神に基づいて支援に努める。

(激甚災害地支援)

事業計画

総務部

《総務部長 橋本誠司》

1 本会の綱領や教育憲章の精神及び各退職校長会の意向を踏まえ、年度の目標を定め、各組織間の連絡・調整・相談等に当たるとともに、諸事業の円滑な進行、諸課題の解決に努める。

2 総会、理事会、副会長会、常任理事会等の企画・運営に当たる。また記念講演の企画・実施に努める。

3 関係省庁や中央教育審議会等への要望・意見具申・提言に努める。

4 文部科学省初等中等教育局長との教育懇談会の企画実現に努める。

5 全国組織の教育関係団体と連携するとともにその支援に

努め、本会の存在意義の高揚を図る。

6 全連退情報・会報の発行やホームページの充実に努め、

各都道府県退職校長会への迅速な情報提供をするとともに、情報の共有化を図り会員の連帯感の醸成に努める。

7 令和5年度「年間紀要」の編集発行に努める。

8 令和5年度の「活動目標」「総会宣言」の素案を作成する。

9 「財務状況健全化検討会議」「組織対策検討会議」「運営対策会議」の検討結果を部長会

・常任理事会等に諮り、成果の具現に努める。

10 研修会を企画・運営し、情報収集に努める。

11 全連退設立60周年行事の計画準備に努める。

教育振興部

《教育振興部長 萩原武雄》

1 「教育の日」について、未制定府県・市町村の制定推進

並びに制定都道府県・市町村の事業の充実に寄与する。また、国民の祝日としての制定を国に働きかける。

2 公立小・中学校における「道徳科の授業」の現状と課題について調査研究する。

3 「全連退教育憲章」の趣旨の徹底・普及に努める。

生涯福祉部

《生涯福祉部長 岡野仁司》

1 会員並びに後進の生活安定・安全に係る情報の収集と広報に努める。

2 生涯学習活動の振興・充実に係る情報の収集と広報に努める。

3 年金・高齢者医療・介護等の改善・充実に係る全連退の提言・意見を日本退職公務員連盟等と連携して関係省庁に要望する。

要望する。

4 叙勲における義務教育関係者の格上げと叙勲枠の拡大を関係省庁に要望する。

5 米寿・上寿を迎える会員を調査し、賀詞・寿詞を贈り長寿を慶祝する。

広報部

《広報部長 村山忠幸》

1 全連退の機関紙として、会報には主要な会議や中央省庁等への要望活動、教育情報等を掲載する。

2 本年度は、年4回(228号、231号)の会報を発行する。発行予定日は、6月30日、9月30日、1月1日、3月15日とする。

3 新会員勧誘支援用として、229号(9月30日号)または230号(1月1日号)を希望する。

4 全連退ホームページの更新を適宜行う。

会計部

《会計部長 三上裕三》

1 各都道府県退職校長会との綿密な連携のもと、会員数の

確保及び会費の増収に努める。2 諸事業が順調に進められるよう、財務の適切な執行・運用に努めるとともに、「財務状況健全化検討会議」を定期的に実施し、将来展望のある対応策を検討する。

教育課題委員会

《教育課題委員長 橋本誠司》

1 文部科学省等や中央教育審議会等の情報を収集し、学校教育の動向や当面する教育課題についての情報提供に努める。

事業委員会

《事業委員長 藤崎武利》

1 各団体の総会日程の把握及び祝意に関する事業を行う。

2 各団体の概要の収集・整理を行い、存在感のある事業等を紹介する。

3 本部としての研修及び情報交換に関する事業を行う。

会長退任の挨拶

令和元々4年度会長 入子 祐三

初夏の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私は、令和5年3月31日をもちまして、全国連合退職校長会の会長の職を退任させていただきました。

振り返ってみますと随分長い間お世話になりました。

教育振興部・教育の日制定推進委員会などで各県退職校長会にお世話になりました。その後、広瀬久会長・戸張敦雄会長時代の総務部長を務めました。そして、令和元年度に会長に就任いたしました。爾来4年間にわたり各都道府県の退職校長会のご支援・ご協力を賜り、常任理事の皆様、部長会・事務局の皆様に支えられて何とか務めることができました。心より感謝いたしております。

考えておりましたが、第6波オミクロン感染症に感染し、自粛生活が長かったもので、すっかり足腰を弱めてしまいました。その結果、全連退本部事務局通いが困難になってしまい、退任させていただくことにした次第です。本当に申し訳なく思っております。

現行会則によりますと、「会長に事故ある時は、会長代理を指名しておく」規定になっておりますので、常任理事会にお諮りして「会長代理に田中昭光総務部長を充てる」「総務部長代理に橋本誠司常任理事を充てる」ことを了承していただいております。

在任中は、多くの皆様にご指導ご鞭撻をいただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。



人生百年にふさわしい

退職校長会を目指して

福島県公立学校退職校長会

会長 福士 寛樹

会員相互の旧交をあたため生活の向上を図るとともに、本県並びにわが国教育の向上に努めることを目的に設立された本会は、創立58年を迎え、県内16支部に2667名(免除会員を含む)の会員が在籍しています。

今年度の主な活動は、①4年ぶりに一堂に会した県大会の開催(ハイブリッド型参加形態の試行)②現職校長会代表との懇談会をもとに県教育長、市町村長、市町村教育委員会教育長への要望活動の展開③社会貢献活動の奨励と機会の拡充④評議委員会・支部長会・理事会等の主催・主管、年間4回の広報誌「松風」の充実と発行などです。

そのほか、関係機関と連携した教員の魅力発信、昨年度立ち上げたDXの推進やトルコへの義援金などにも取り組みます。

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から12年が経ちました。原発が立地する双葉支部では帰還困難地域が段階的に解除され、復興の歩みが着実に進められています。しかし、廃炉や汚染水処理の問題、インフラ整備や新たな労働環境の整備、雇用の創出など課題が山積し、会員101名が未だ誰一人として帰還していない現実もあり、復興道半ばにあると言っても過言ではありません。大震災や原発事故の被災経験を風化させない取組にも引き続き力を入れてまいりますので、全国の皆様には今後ともご理解とご支援をお願いいたします。

会員と共に健康で生き生きと地域や社会のために進んで貢献する人生百年時代にあふらしい退職校長会を目指してまいります。

岡山県教育問題懇談会

岡山県退職校長会

事務局長 山田 育徳

岡山県退職校長会の最も大きな行事は、県教委・市教委の指導主事、現職の小中高の校長会長を招いて行う「岡山県教育問題懇談会」です。

令和5年1月31日に、「人材確保・人材育成と働き方改革」というテーマで開催しました。

このテーマを設定した理由は、教職という仕事が魅力的なものになり今後志望者が増えていくには、勤務時間や教職員数等の人的・物的環境の改善のみならず、教職員のモチベーションの高揚を含めた「働き方改革」のあり方を探ることが大切だと考えたからです。

その中で出された主な内容は次のとおりです。

(1) 人的・物的環境の改善
・校務分掌や行事の見直しをし、

学校以外が担うべき業務の切り離しを進めている。

・教師業務アシスタントの配置を行い、教職員の負担軽減に努めている。

・部活動指導の見直し、学校閉庁日の設定、自動応答電話の設置、打刻システムの導入などの取組を進めている。

(2) 心的モチベーションの高揚

・業務の効率化でできる時間を研修の時間に充て、実践を通して達成感や充実感を味わえるようにしていきたい。

・若手教員や様々な職種の教職員が多くなってきた現在、困りごとに耳を傾けたり、気付けたりできる集団にしていきたい。

このように、働き方改革の目的は、時短・効率化・削減ではなく、その先にある教職員の働きがい・成長実感・充実感にあるということを実感した時間とすることができました。

各地の会報紙より

山形県退職校長会

「会報」第113号

都会と地方の狭間で

東田川支部 蛸井 由美子

退職から六年。退職と同時に地元櫛引の若者達が立ち上げた地域おこし産直事業を手伝うことになり、現在は社員として月の半分は櫛引で地元農産物の仕入れ出荷業務、もう半分は東京都大田区の山形産直ショップで店頭販売業務に携わっています。

元々東京生まれの素性は隠し、四十年以上の山形暮らしで培った庄内弁を駆使して山形のババで通っています。

取り扱っている山形産の野菜や果物・米・漬物・お菓子その他様々な商品はどれも美味しいと評判で、我が県のキャッチフレーズ「おいしい山形」が正に的を射ていると実感します。そんな美味しい食材に恵まれたふるさと山形は田舎ながらも魅力

的で、多くの人々にその良さを知ってもらいたいと思いつながら仕事をしています。

それにしても、改めて実感する東京の人間の多さ。あの高層マンションにもこの小さなアパートにも人が住んでいて自分が砂漠の砂の一粒に感じられ、田んぼの中のとんと一軒家の我が家に帰ると大自然に抱かれた自分の存在が大きく感じられます。

東京の人は（皆でないにしても）季節感がなく、猛吹雪の時期にトマトやキュウリを求めたり北国で採れないミカンやバナナを求めたりして山形の店を困惑させます。一人暮らしの（おそらく孤独な）お年寄りや若者も多く、レジの後の世間話やローカルな話題で癒されて帰る人も多く見受けられます。この事業が目指しているのは山形の物産を売ることだけではなく、産直活動を通して都会と地方を物と心で結ぶことではないか、最近はそのように感じています。私は公的には鶴岡市朝日地域

の地域学校協働活動のコーディネートとして地域と学校を結ぶ活動を行っています。地域の過疎高齢化は常に頭と心を悩ませます。これは山間部の朝日

地域に限った問題ではなく今や山形県全体、いや山形を含む「地方」が抱える共通の課題です。食の宝庫ふるさと山形に人が戻り住み続けるにはどうしたらよいか。簡単には解決できないものの、必要なのは人が働いて生きる場です。

山形の農家が栽培した作物、山形の業者が製造した加工品、これらの流通販路を切り開いて山形でも働いて暮らせる地域おこしを目指そうとする若者達の足手まといにならないように、微力ながらも少しお手伝いをしたいと思うこの頃です。



岐阜県退職校長会会報

「彩雲」第20号

リモート授業

高山大野支部 山本 茂

「人生には、登り坂下り坂、そしてマサカがある」と知ってはいたものの、定年退職後に、まさか自分がリモート授業をするとは。

三年前、私はコロナ禍に退職して高校非常勤国語教師となり、在宅高校生にグーグルのクロームブックを使ってパソコン授業をすることになった。前途多難であったが、マスク無しの生徒個々の表情も動画で確認して、

双方向の学び合いをスタートした。挙手・質問・板書送信・対話などもできる学習活動。生徒は初読作品・内容整理作文・感想などを送信する。ネット検索の調べ学習により、調査探究力も向上している。私は、パソコン越しの生徒と問答し合い、生徒作文等の採点やコメントも瞬時にできる。鉛筆書きのノート提出と違って、文字美の支援や丸付けもなしである。現職の頃に夢見た未来授業。それをさらに工夫改善している今である。

登山も探求し、アフリカ大陸最高峰キリマンジャロにも今夏

登頂できた。「学び続ける教師」としての私に生涯学習のチャンスを与えてくださった全ての方々に感謝し、さらに未来開拓をしていきたい。



福島県公立学校退職校長会

「松風」第187号

挑戦!!

耶麻支部 松原 実

現職時代、退職した先輩方から、「第二の人生のために、何か趣味を持つといいよ。」と言われていました。

これといった趣味がないまま退職した年、公民館の体験講座で「パラグライダー」に出会いました。空を自由に飛べるという楽しさを知り、すぐにスクールに入校し、時間を見つけては通っています。

初めて単独飛行をして、八百メートル上空から、東に磐梯山、西に雪を頂いた飯豊連峰、眼下に会津平を見た時の感動は今も忘れることができません。

多くの友人から、「空を飛ぶなんて、危ないことはやめろよ。」と言われますが、「俺は現職時代、子供たちに、『何事にもあきらめず、挑戦する気持ちを持って』と言ってきた。今度は自分自身が挑戦だ。」と答えています。

四年前からは、冬の挑戦としてスノーボードを始め、昨年は、夫婦でバイクの免許取得に挑戦しました。免許取得では、年齢的なこともあり、何度もあきらめようと思いましたが、教官の方々の励ましで何とか取得できました。爆音を体で感じて走るのは最高です。

今、アウトドアスポーツという趣味を通して、多くの仲間ができました。第二の人生の財産です。

今年の挑戦はスキューバダイビングです。体力の続く限り、何事へも挑戦する心を持ち続けていきたいと思っています。



五反田だより (事務局)

今年の春、日本とアメリカで行われた野球のWBCで、日本人選手が大活躍して、見事優勝し、多くの日本国民を熱狂させてくれたことは、いまだに記憶に残っている人も多いだろう。

特に、準決勝のメキシコ戦での9回裏の逆転サヨナラ勝ちも私もテレビの前で快哉を叫んでしまった。また、アメリカとの

決勝戦で、1点リードで迎えた9回裏2アウトから大谷投手がアメリカの強打者でありアメリカ大リーグで同じチームに所属するトラウトと対戦し、三振に切って取り、優勝が決まった時も興奮した。

このような大会が行われる中、ゲーム展開とは直接関係はないが、あるエピソードを私は知った。それは、東京ドームで行われたオーストラリア戦で、1回の裏に大谷選手が外野席の上段にある看板を直撃する特大ホー

ムランを打った時のことである。看板に当たって跳ね返ってきた

そのホームランボールを手に入れたのは、外野席にいた福島県いわき市の女子大学生、赤津優奈さんだった。赤津さんは、手に入れたボールを外野席にいた他のファンに渡すと、渡された人はスマホなどで記念撮影するなどしてから次の人に渡す形でリレーしていった。

最終的に赤津さんの手元にそのボールは戻ってきた。赤津さんは、「すばらしい体験でした。あの体験を周りのみんなと共有できて本当にうれしい」と語ったそうだ。

その話を読んだ時、私は「赤津さんは本当に思いやりのある、優しい性格をしている人だ」と思うと同時に、「何の混乱もなくボールを回していった人たちも、素直ですばらしい人たちだ」と思った。日本人のすばらしさを再確認してうれしくなった。

(M・T)

◇4月

- 7 部長会
- 10 教育課題委員会
- 11 会計部会
- 12 教育振興部会
- 14 部長会
- 17 令和4年度会計監査
- 24 第一回常任理事会
- 28 部長会

◇5月

- 8 部長会
- 10 教育課題委員会
- 15 部員・委員連絡会
- 17 教育振興部会
- 18 生涯福祉部会
- 24 教育振興部会
- 31 部長会

◇6月

- 5 広報部会
- 6 5年度「理事会」
- 7 5年度「総会」
- 9 部長会
- 12 広報部会
- 14 教育課題委員会
- 19 広報部会
- 22 全国幼・小・中・高・特支
- 26 校園長会との教育懇談会
- 30 部長会
- やよい会

編集後記

○梅雨の季節の中、蒸し暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

○コロナ禍もようやく収束に向かい、4年振りに、来賓をお招きし、一堂に会しての第59回総会が開催されました。ここに総会を特集してお届けいたします。

○入子祐三前会長が令和4年度をもって退任されました。その挨拶文を掲載いたしました。永年のご尽力に感謝申し上げます。

○広報部員はこれからも改善の努力を行ってまいります。今年度もよろしくお願いたします。

全連退会報 (228号)

発行 令和五年六月三十日
発行所 東京都品川区東五反田

五二一三三三〇八

全国連合退職校長会

電話 〇三三四四二八七六八

FAX 〇三三四四二八七六八

Eメール info@seunretai.org

振替口座 〇〇一九〇九四四七二〇

○責任者 田中昭光

印刷 株式会社 信行社

電話 〇三三四三三三三六二二